

東大阪鋭敏粘土の地盤堆積環境と土質特性について

Geotechnical Properties and Geo-environment of Higashi-Osaka sensitive clay

金岡 正信

(Masanobu KANAOKA)

本研究では大阪市東部から東大阪市にかけて広く分布する沖積粘土、通称「東大阪鋭敏粘土」の連続サンプリングを実施した。堆積環境(海成・非海成)が物理・一軸圧縮・段階載荷圧密・定ひずみ圧密, 塩分含有量, 強熱減量および pH の各試験結果に及ぼす影響を明らかにする目的で、サンプリングチューブ内の試料を細かく分割して各試験を実施した。

その結果, ①海成・非海成粘土の境界部において、塩分含有量, 強熱減量および pH 試験値が大きく変化する。②海成粘土層内においても、塩分含有量, 強熱減量および pH 試験値が大きく変化する深度がある。③海成・非海成粘土の境界付近で、鋭敏比の深度方向の傾向が大きく変化する。④海成・非海成粘土の境界付近で段階載荷圧密・定ひずみ圧密試験から得られるそれぞれの圧縮指数 C_c が大きく異なる。以上の試験結果を踏まえ、東大阪鋭敏粘土地域における地盤改良効果と堆積環境の関係を考察した。